

地域ので 北陸新幹線「京都府北部ルート」実現を! 「総決起大会」を開催

3月5日(土)、北陸新幹線の京都府北部ルートを誘致するため、京都府北部5市2町の商工会議所、商工会、観光協会、議会、自治体らで結成する北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会の「設立総会」と「総決起大会」に、同盟会設立発起人である当所の廣瀬会頭が出席しました。

北陸新幹線は、昨年3月に金沢まで開業し、7年後の平成35年春には敦賀まで延伸開業されることが決定しています。現在は「敦賀-大阪間」のルートについて、京都府北部ルート(舞鶴ルート)を含む複数の案が議論されており、本年5月には調査検討対象ルートの絞り込みが行われ、平成28年度中にルート決定される重要な時期を迎えています。

「設立総会」では、設立発起人である廣瀬会頭から「新幹線を京都府北部地域に誘致することができれば、京都府北部のステータスが大きく向上し、発展する一大契機となることは間違いない」と挨拶。同盟会会長には多々見・舞鶴市長が選出され、今後同盟会として、北陸新幹線の誘致に向けて政府など関係機関に働きかけていくことを確認しました。

この後開催された「総決起大会」には、地元選出国會議員などの来賓の方々のほか、当所会員事業所をはじめ、北部5市2町の住民、関係団体など1,100人が集まり、立ち見が出るほどの熱気の中、会長である多々見・舞鶴市長が「京都府北部地域は日本海側の重要地域であり、この地域を抜きに北陸新幹線のルートを議論することはできない」と挨拶され、会場の参加者全員で「近畿全体の構造的な経済効果と、国家的な防災・リダンダンシーの確保といった、極めて大きな公益をもたらす北陸新幹線京都府北部ルートの誘致に向けて取り組む」ことを決議し、最後は副会長である山崎・綾部市長の掛け声によりガンバロウ三唱で締めくくりました。

当所は、地域を牽引する総合経済団体として、また本同盟会の設立発起人として、この地域の活性化に資する北陸新幹線の誘致に積極的に取り組んで参ります。

地域ので「北陸新幹線」を 京都府 北部へ!



総決起大会でガンバロウ三唱



設立総会で会頭が挨拶